

柴崎研究室現地調査報告

2013年9月2日、柴崎研究室の教員と院生1名、学生2名の計4名で、2013年度2回目の裏磐梯調査（水位計データ回収）に行ってきました。

2013年5月の調査と同様に、今回もあいにく午後は雨でしたが、無事に銅沼、弥六沼、毘沙門沼の水位データおよび裏磐梯ビジターセンターに設置したバロメータのデータを回収することができました。

銅沼の水位は2012年8月から9月にかけて大きく低下しましたが、今年（2013年）9月の水位は昨年同時期の水位よりも高くなっていました。

銅沼に設置した水圧式自記水位計の記録によると、銅沼の水位は2013年4月下旬から6月上旬にかけて高くなり、その後7月半ばにかけて低下しましたが、7月17日から急上昇しはじめ、7月24日から8月22日まで水位の高い状態が継続していました。その後は水位が低下しはじめ、9月2日には8月の最高水位よりも16cm低い状態でした。

柴崎研では、3回目の裏磐梯調査（水位計データ回収）を、2013年11月頃に行う予定にしています。

